



ミクロネシア NEWS

2019年2月22日第6号
JICA 青年海外協力隊
ミクロネシア連邦派遣
小学校教育隊員
磯崎 春美（中野区立江原小学校）

江原小のみなさん、こんにちは。春の訪れが待ち遠しいですが、みなさん元気でしょうか。インフルエンザや風邪に負けないように手洗い、うがい、水飲みをしっかりとって健康に過ごしてください。

さて、ここポンペイの2月はとても風が強くストーム（台風より弱いもの）が多い時期です。先日も強いストームがポンペイ島を襲い、木が倒れたり屋根が飛ばされたりしていました。日本よりも台風は少ないですが、家屋のつくりが頑丈でないため屋根が飛んでしまうことや、家が倒壊してしまうことがよくあるそうです。ちなみにポンペイにある季節は2つ。「風が穏やかな夏」「風が強い冬」です。冬は3月ごろまで続くので、毎日風がとても強く吹いています。

今回のミクロネシアニュースのテーマは1月、2月に行われた行事について紹介します！

EDUCATION DAY



まず、1月に行われた「エドゥケーション・デイ」について紹介します。日本語に訳すと「教育の日」です。1年に1度あるこの日に、成績優秀な児童、生徒が表彰されます。地域ごとに3校合同で行われるため、場所は持ち回りになっているようですが、ネッチに立派な体育館ができたため、今年からはネッチ小学校で行われることになりました。前日、職員総動員で飾り付け準備を行いました。



そして、先生たちにもお揃いのユニフォームを着てくるように指示が出されました！制服かと思ったら、そうではなく教員だけで生地を揃えてオーダーメイドで作るということでした。私も急いで町の仕立て屋さんへ駆け込み、前日に服を受け取ることができました。（ぎりぎりに伝えられることはここではよくあります。）それぞれの先生によってデザインも少しずつ違い、みんなとてもおしゃれに着こなしていました。



そして、式では成績優秀者の子どもたちは名前を呼ばれて賞状と商品券24ドルが入った封筒が渡されます。お金をもらえるなんて！とても驚きました。子どもたちは誇らしく、とても嬉しそうな様子でした。この日はお弁当も参加者全員に配られ、盛大な行事となりました。



JAPAN FESTIVAL



続いての行事は「ジャパンフェスティバル」です。この行事は、日本大使館が主催で1年に1度開催しています。この期間には日本の映画が映画館で無料放映されています。そして最終日の2月9日は、大きな体育館でお祭りイベントが開かれました。前半はパフォーマンスや沖縄伝統舞踊が披露されました。後半は日本の文化体験、紹介のブースが開かれ、現地の人々が浴衣の着付けを体験したり、折り紙や習字に挑戦したりしました。

私の勤務先のネッチ小学校からは、音楽クラブがパフォーマンスに参加しました。1カ月前から練習していた日本の歌を披露しました。日本の方々から送られたリコーダーや鍵盤ハーモニカ、ハンドベルを用いた演奏を行い、その日一番の拍手をもらいました。日本大使夫人は演奏を見て涙していたそうです。



見ている人を感動させることができた経験は子どもたちにとってとても貴重なものになりました！

さてみなさん、わたしからお願いです！「こんなことが知りたい！」「調べてほしい！」というリクエストがあれば大宮先生に伝えてください！リクエストをもとに取材をしてニュースを送ります。